

## 2012年度私立大学図書館協会西地区部会館長懇話会

### 館長懇話会のテーマ設定について

#### 1. テーマ：「大学図書館における学習支援の可能性と限界（その2）」

—学生目線の図書館ピア・サポーターの活用を通して—

#### 2. テーマ設定の趣旨

昨年度の館長懇話会テーマは、大学の規模や学部構成、地域性などの諸条件の枠を超えて多くの大学が共通した問題として話し合える可能性が高いと考え「大学図書館における学習支援の可能性と限界」といたしました。

今年度の同懇話会においても、おおよそ次の3点の事情を考慮してそのテーマを「大学図書館における学習支援の可能性と限界（その2）」と設定し、その焦点を「学生目線の図書館ピア・サポーターの活用を通して」ということにいたしました。

その事情の一つに、ご承知のように同懇話会は、昼食を挟んでの限られた時間内で行われますが、昨年の場合、たくさんの方から活発なご発言をいただきました。このことは、とりもなおさず各大学ともに学習支援というテーマに大きな問題意識を持って取り組んでおられることを実感させるものでした。

二つ目の事情として、昨年の館長懇話会后、ご参加いただいた館長（センター長）の皆様アンケート調査をお願いし、今年度に向けてのテーマ設定や会の進行などに関するご意見などをお寄せいただきました。その貴重なご意見・ご要望はホームページに掲載しているとおりです。それらを踏まえて、今年度も多少焦点を絞りつつ学習支援に関する意見交換を継続することに相応の意義があらうと判断いたしました。

三つ目の事情には、今年度総会後の講演においては、先進的な学習支援を展開されている金沢工業大学の「KIT-LCのSL制度と学習支援について」と題するご講演をいただくことから、「学生目線」に立つ図書館ピア・サポーター活動にみる学習支援に焦点を当てて意見交換を試みることにいたしました。

この一年をみても、学習支援におけるピア活動のありさまは相当に進展しているのではないかと推察し、活発な意見交換を図ることができるのではないかと考えております。